

ぶんぱくのビジョン・方向性について

★ぶんぱくキーワード

ぶんぱくのビジョンや方向性に関して、ぶんぱくあり方検討会のほか、職員意見交換会及び市民ワークショップで挙げた主なキーワードは以下のとおりです。

（ご意見は原文をもとに、一部追記・修正し、市でカテゴリー分けをしています）

●博物館の役割・機能 ・今ある資料、今ある活動、今いるユーザーというベースの上で、未来を考えなくてはいけない ・美術館機能を分離し、歴史・郷土資料・自然史に特化した博物館 ・あかしの文化、自然、景観、人の営みを幅広く対象とした博物館 ・市民による歴史や自然の学びの拠点 ・天文科学館、図書館との連携やコーディネート機能が必要 ・文化多様性と生物多様性を架橋した探求を通じて、持続可能な共生社会に貢献する未来の総合博物館	●博物館を通じて楽しむ ・市民が何度でも訪れたいくなる ・子どもたちの想像力や探求心を引き起こす ・新しい発見ができる ワクワクするものに出会える ・暮らしの一部として、のんびり、ゆっくりできる ・おしゃべりができる ・市民に親しまれる ・市民と一緒に作り上げる ・見て触って学べる ・カフェで過ごすことが出来る ・ミュージアムショップの充実 ・体験プログラムの実施 ・小学生のうちから博物館に来る機会をつくる ・こどもの作品を飾る ・民間企業と連携した展示
●コミュニティ・場づくり ・博物館を通じていろんな人のつながりが生まれる ・文化的コモンズ ・市民の愛着と誇り シビックプライド ・地域のハブとなる ・自分が参加したくなる 自分が活躍できる ・若者が利用する 活躍できる ・ボランティア活動の充実 ・次世代の育成	●情報発信 ・市内外、子どもたちに届くように情報発信 ・出張展示、アウトリーチ活動の充実 ・デジタルアーカイブ ・レファレンス体制の充実 ・博学連携 ・外国人への情報発信
●博物館の利便性 ・無料 ・オープンスペースがある ・博物館に関する本が読める ・涼みに行ける 気軽に立ち寄れる	

★基本理念(ビジョン)

〇〇〇で、□□□な、△△△△・・・博物館

- 明石の文化を守り、活用し、継承していく
- 誰もが何度でも訪れたくなる
- 多様な人々が集い 交流できる
- 人々が、博物館を通じ、つながっていく
- 子どもたちの想像力や探求心を引き起こす
- いつもワクワクできる
- 愛着と誇りが持てる
- くつろぐことができる
- 自分が活躍できる 参加できる
- 地域のハブとなる

★基本方針(方向性)

1 収集・整理・保存・研究

明石の歴史、民俗、〇〇に関する資料の収集・整理・保存・研究をし、明石の宝として未来に繋いでいく博物館

(主な取組)

- ・専門性を支える人材の確保
- ・資料保存スペースの確保
- ・デジタルアーカイブの整備
- ・計画的な施設改修
- ・文化財資料等の災害対策の推進

2 展覧会・教育普及

歴史、民俗、〇〇分野にわたる「総合博物館」として、子どもたちの豊かな感性を育み、次世代の人材を育成する博物館

(主な取組)

- ・ハンズオンによる展示
- ・図書・資料の閲覧スペース等の整備
- ・ボランティアの育成
- ・体験プログラムの実施
- ・インターネットによる情報発信

3 交流促進・地域活性化

人々が集い、つながりが生まれる博物館

(主な取組)

- ・市民の創作・研究成果の発表の場としての支援
- ・市内企業の製品等の展示
- ・アウトリーチ事業の充実
- ・他の博物館や市内企業等とのコラボ・連携

4 居場所・憩いの場の提供

安全・安心で安らぎと憩いの場を提供する博物館

(主な取組)

- ・カフェスペースの整備
- ・キッズスペースの充実
- ・ミュージアムショップの充実
- ・ユニバーサルデザインの推進